

オイルを入れ忘れ、納車後にエンジンが焼きついた!

※本事故事例集は、実際の事故事例を参考にして作成しています。

加工場はお客様から大型トラックの車検整備を依頼され、完了後に納車しました。翌日、お客様がそのトラックを運転していると数キロ走ったところで止まってしまいました。加工場がエンジンオイルを交換したときに、オイルを抜いた後、新しいエンジンオイルを入れ忘れたことが原因でした。

その結果エンジンは焼きついて交換となってしまいました。

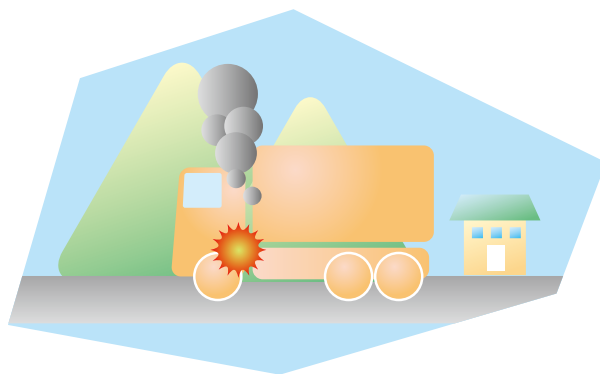
支払保険金

2,154,563円

※損害額の85%に相当する金額を保険金としてお支払いします。

費用	金額
損害額	2,534,780円

- エンジンオイルやミッションオイル等の交換作業でオイルを入れ忘れたため、エンジン、ミッションが焼きつく事故は多く発生しています。オイルを抜いたら、必ず新しいオイルを入れることを徹底する、納車前にレベルゲージでオイル量を必ず確認することが肝要です。
- 本制度のPL保険では整備ミスが原因で発生した納車後の車両自体の損害「完納車車両事故」を補償します。この制度の大きな特徴です。



お問い合わせ先

一般財団法人全国中小企業共済財団(全共済)

TEL 03(3264)1511

「日整連自動車整備業賠償共済保険」の詳細はパンフレットをご参照ください。補償概要につきましては右の二次元コードから動画でご確認いただけます。

